

## (2) 会計別予算規模

平成20年度当初予算の総額は、778億1,945万円で、その内訳は、一般会計が545億円、特別会計が9会計（10勘定）で233億1,945万円です。なお、老人保健制度が見直されて、平成20年4月より後期高齢者医療制度が施行されたことに伴い、新たに「後期高齢者医療特別会計」が設置されました。

前年度と比較すると、一般会計で44億円（8.8%）の増額となりましたが、これは新清掃工場の本体工事などが開始されること、（仮称）中台第二保育園整備事業、（仮称）大栄野球場整備事業、市営住宅建替事業などによるものです。

※ このページ以降の「平成19年度当初予算」のうち「一般会計」の内容は、「平成19年6月補正後の現計予算（「骨格予算」＋「6月補正予算」）」を「当初予算」として説明しています。すでに公開中の「平成20年度当初予算の概要」の中の「平成19年度当初予算」では「骨格予算」の内容を表示しており、内容に差異がありますので、ご留意願います。

【第1表 当初予算総括表】

（単位：千円）

会計区分		平成20年度 当初予算額	平成19年度 当初予算額	増減額	増減率 (%)	
一般会計		54,500,000	50,100,000	4,400,000	8.8	
特別 会計	国民健康保険	事業勘定	10,350,405	10,090,265	260,140	2.6
		施設勘定	152,626	133,026	19,600	14.7
	下水道事業		2,176,593	2,152,308	24,285	1.1
	公設地方卸売市場		272,113	246,373	25,740	10.4
	老人保健		722,156	6,653,011	△ 5,930,855	△ 89.1
	介護保険		3,956,534	3,857,964	98,570	2.6
	農業集落排水事業		362,604	440,288	△ 77,684	△ 17.6
	後期高齢者医療		753,271		753,271	皆増
	簡易水道事業		590,998	749,236	△ 158,238	△ 21.1
	水道事業		3,982,149	3,446,149	536,000	15.6
	合計		23,319,449	27,768,620	△ 4,449,171	△ 16.0
総計		77,819,449	77,868,620	△ 49,171	△ 0.1	

## 【用語解説】

## 会計の名称

会計の名称		内容
一般会計		市の基本的な行政を行うための会計です。
特別会計	国民健康保険	事業勘定では、被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際し、必要な保険給付を行い、施設勘定では、大栄診療所の運営を行います。
	下水道事業	都市排水施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	公設地方卸売市場	青果物、水産物などの生鮮食料品を安定した価格で提供し、市民生活の向上を図ります。
	老人保健	老人医療受給者に医療費(平成20年3月までの診療分)を給付することを目的としています。
	介護保険	被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。
	農業集落排水事業	農業集落におけるし尿、生活雑排水などを処理する施設の整備を行い、市民生活の環境整備を図ることを目的としています。
	後期高齢者医療	75歳以上の後期高齢者医療に関する保険料の徴収等を行うことを目的としています。
	簡易水道事業	給水人口5,000人以下の地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。
水道事業	給水人口が5,000人を超える地区について、安全な水の安定的な供給を目的としています。	

※ 特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する必要があるときに設ける会計です。

※ 老人保健制度が見直されて、後期高齢者医療制度が導入されましたが、平成20年3月までの診療分の医療費を給付するため、当分の間老人保健特別会計で経理を行います。